

町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



小学校教育の成果を視察

私が所属する町田市議会保守連合会派（新井克尚幹事長を含めた4名）は、福岡県飯塚市立菰田小学校を視察しました。合わせて、飯塚市教育委員会の方にも小学校内で話をお伺いしました。

「陰山メソッド」（陰山英男先生：元大阪府教育委員長などを歴任）と呼ばれる、漢字や算数を使った教材を徹底反復する方法を用いて、学習能力を高めるやり方を積極的に導入実践している姿を学びました。教室内の児童が「百ます計算」や「文章の音読」を授業時間の冒頭で行うものですが、児童の計算や読み取りの速さに驚きました。4年生と3年生の教室で見学しました。

*画質を落とした写真を用いています。



さらに見学したのは6年生の英語教育でしたが、海外とオンラインでつないだパソコンを使って、児童が個別に相手の先生と英会話をするとところも見学しました。モニターで会話をすると相手はすべて海外の人であり、楽しく英語の会話が進んでいる状況を見ることができました。

体育館では、福岡県内のスポーツコンテストの対象種目に取り組む児童の練習も見学しました。上野校長先生をはじめ、教職員の方々の期待の成果が出ているもので、今では、多数の種目において県内トップの成績を誇っていました。



この学校は公立学校ですので、私立学校のように特別な訓練をした児童が集まっているのではなく、一般の校区を対象にした1学年1クラスの小規模校でした。

私は質疑応答において、「教材の使い方」と「転入児童」の対応について尋ねました。教材の使い方では「徹底反復学習」と言うことで、一つのドリルを3週間使い、書きあげる時間を短縮するに重点を置いているとのことでした。また、授業の学習テンポが異なる転入児童に対しては、周りの児童の協力が生かされているとのことでした。



★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

保守連合会派室



保守連合会派所属議員

谷田昌平と第三の新人たち展

町田市立文学館（通称：ことばらんど）の「谷田昌平と第三の新人たち展」に招待され、その内覧会で市長代理の高橋副市長に続いて、下段のあいさつ趣旨を述べました。

谷田昌平は、戦後の文学界で、第三の新人といわれる世代の文豪者にかかわることが多くなっています。自身は学生時代から文芸評論の優れた才能とキャリアがあり、その才能を知る人が動いて、彼が新潮社に入社することにつながっていました。その後、編集者として新しい人材を発掘、成長させる役割を果たしていますが、町田市に在住したこともあり、地元の遠藤周作とのかかわりも深くなっています。この展覧会の展示物にかかわった人物名が掲げられていましたが、自分が読んだことがある中では、吉本隆明や黒井千次の氏名があった特に印象に残ったので、挨拶に入れました。その他心に残ったこととして、谷田昌平は新潮社で編集や出版の仕事をしており、「芥川賞」の名称を盛り込みませんでした。自分なりにライバルである文芸春秋社の看板事業を語らないためでした。



研究者の論文作成に協力

地方議会の改革のテーマで、学者のお二人の来訪がありました。議長として、町田市議会の改革に関するヒアリングを受けました。流通経済大学 助教 加藤洋平先生、早稲田大学 政治経済学術院 助教（任期付き）木下 健先生のお二人と一緒に来訪されました。議会事務局担当者から事前にヒアリングを行い、事務局の同席はなく、本日の単独の議長取材となったものでした。



議会改革のテーマで、特別委員会を設置して会期中以外の審査を行うことで審議が捗るのではないかと問いがありました。実態に照らすと、議会運営委員会は会期中以外も開催され、町田市議会では議会だよりの発行も議会運営委員会が担当し、定例会閉会後に開催することと、定例会招集前に必ず開かれることで、日程上の問題はほとんどないことを説明しました。特別委員会が作られるのは、まとまった議題が検討される場合が多いように思っています。

(本会議場に案内し、システムの説明中)

★ 政党無所属・市議会保守連合 **市議会議長として活動中**

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）



メール送信

町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生募集中

研修レポート③ 村上 真由

目黒区美術館を見学しました。こちらでは、約2か月間の期間でヨーロッパの木の玩具の展示をしていました。

木材の持つあたたかみと丸く削られた曲面が気に入りました。子どもが安全に遊べるような工夫であり、外見も綺麗に仕上がっていました。副館長の池本さんから教えていただいた話ですが、この展示にある積木は今有名な藤井四段が小さい時に遊んでいたということで、とても人気だそうです。たしかに積木は想像力などが養われそうですね。シンプルですが、小さい子には良い遊び道具だと思います。また、動物を型取った人形は、木の輪から旋盤加工のように削って作ることに驚きました。一つ一つを削って造形しているのではなく、一つの輪を動物の形に削りそこから何十匹と作るらしいです。動物を下からみた形で削っているため輪を切って断面を見なければどの動物かわからなかったもので、削っている方はすごいですね。



玉川大学3年 村上 真由(第40期生)

研修レポート④ 小山 光

町田市監査事務局の業務について今國隆市課長からお話を伺いました。監査事務局とは税理士、弁護士など専門知識を有する外部委員2名と市議会議員2名の計4名から成る監査委員と、その補助をする8名の監査事務局員から構成される組織です。

主な業務内容としては、定期監査、決算監査や例月出納監査といった各種監査、議会・市長への監査結果の報告、各部局への監査結果に基づく改善措置、違法不当な公金支出・土地や物の利用処分・債務や税の徴収怠慢に対する住民からの監査請求の対応などがあります。



これらの業務の中には市議会議員への監査も含まれておりそれに対し議員側が主体となって委員会を設け領収書等のネット公開がなされていたり、監査事務局のホームページで改善措置の結果や住民監査請求の手続きが公開されていたりと、市に関する財務について透明化が進んでいるということを知りました。市と市民の間でも影響の大きいお金の問題についての業務を行う監査事務局の重要性を痛感しました。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

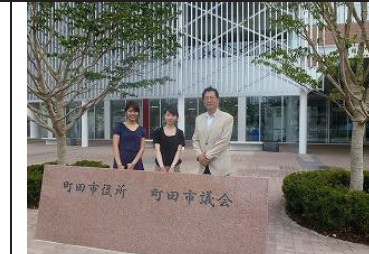
〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

保守連合会派室



市議会の傍聴・見学

また後日、それと関連して吉田議長のインターンにおいて私の先輩にあたる橋本総合法律事務所の前場俊文弁護士からお話を伺いました。弁護士業務の大変さ、弁護士になるためには必要不可欠な司法試験について、その厳しさなど、現在法学部に在学している私としては非常にモチベーションを刺激されるお話を多数頂戴し、微かな焦燥感を抱きながらもよりいっそう勉学に励んでいこうと決意を新たにしました。



早稲田大学2年 小山 光(第40期生)

*ちなみに、吉田つとむのインターンシップ体験者で現在までに弁護士は2名がすでにその業務を行っており、さらに、新たに本年1名が司法試験に合格しています。(吉田注)

研修レポート⑫-2 宇津木彩名

今回は日本経済新聞社を訪問し、編集委員兼キャスターである鈴木 亮 氏とお話をしてきました。最近ではネットが普及し、新聞や広告を読む人が減っているそうです。ネットは手軽で情報が早いという利点があります。

しかし、ネットは信憑性が欠けており、それに反して新聞や広告は信憑性の高さが存在します。そのため私達にとって新聞や広告は、社会を知るために重要なメディアとなっています。

現在、日本経済新聞では沢山の部署が存在しカテゴリー別に記事を作成しています。部署は政治や経済、見出しのレイアウト担当など様々なものがあります。政治関連に関しては男性が多く所属していますが、生活情報部は女性が割と多く働いていると聴きました。マスコミ関係の仕事は、情報提供のため時間に追われ、休みが少ないというイメージがありました。従って女性がマスコミ関係の職種に就くことは難しいと感じていました。

しかし、女性が仕事をし、活躍する近年においては育休や産休の制度が整い、育児と仕事の両立が可能になっています。更に日本経済新聞社では、新卒の女性を3割程採用しています。これは仕事をする上で、男女間の差というものを少なくし、効率良く仕事を回すことに繋がるのではないかと思います。



津田塾大学1年 宇津木彩名(第39期生)

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)